

移住風景

平成 30 年度【第 10 号】
平成 31 年 2 月 1 日発行
八頭町役場産業観光課
(0858-76-0208)

—八頭町地域おこし協力隊活動の現場から—

年末年始*四方山話

年末から年始にかけて、雪がきや雪遊び？に追われながらも、しめ縄づくりや自警団の集まり等の集落の行事に参加しました。しめ縄づくりでは、私は人生で初めて紙垂（しで）を作りました。大晦日は、ごく簡単ですがおせちの準備をしなから年を越し、元旦の朝は集落内の神社へ初詣に行きました。火を焚き、集落の皆さんとお神酒を飲んで挨拶を交わしました。



松下 聡子

二日は、八東新春マラソン&ウォーキングに参加。雪が舞ってとても寒かったですが、本格的に走る方も多くいて、来年は走ろうと心に決めました。ゴールした後はおいしいぜんざいをいただきました。福引きでお米も当たりました。年末年始を地域の皆さんと過ごすということの暖かさがすっかり気に入った私なのでした。

協力隊担当の現場から

八頭町発見伝②
— 瀧本山円入寺跡 —

八頭町西御門と花原をつなぐ県道から歩いて約三十分のところに「瀧本山円入寺跡」があります。

瀧本山円入寺は、神亀元年（七二四年）に円鎮僧都が創建し、大同二年（八〇七年）に真言宗のお寺として伽藍を造営したと言いつた伝えられています。

元弘二年（一三三三年）には、隠岐を脱出された後醍醐天皇が円入寺に逗留されたと言われていますが、天正九年（一五八一年）

の羽柴秀吉の鳥取城攻略時に兵火にかかって消失してしまいました。このとき、一法という荒法師らが仁王像と阿弥陀如来像を搬出し、仁王像は西御門集落の仁王堂に祀られることとなったと言われています。

円入寺跡の近くには「三段滝」と呼ばれる滝もあり、かつては僧兵達がこの滝で修業をしていたことも想像されます。案内看板もありますので、ご興味のあるかたは是非ご確認ください。

（産業観光課・田中）



○協力隊からのお知らせ

- ・2月23日（土）18:00~20:00「レコード音楽会」（於：道の駅はっとう）<松下>
- 移住風景バックナンバー
- ・八頭町役場ホームページからカラーでご覧いただけます。